

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特 集

シスメックスの提供価値

世界中の人々の健康に寄り添う、
シスメックスの挑戦 5ページ



シスメックスの生産拠点があるブラジル、パラナ州のイグアスの滝 →裏表紙をご参照

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

第2四半期では回復も、
特殊要因の影響などにより
減収・減益。

代表取締役社長

浅野 董

あさの かおる
【出身地】兵庫【略歴】大学院を卒業後、川崎重工工業株式会社に入社。その後、1987年東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社し、2009年執行役員中央研究所所長、2017年取締役 専務執行役員を経て、2023年現職に就任。【趣味】陶芸、将棋【信条】雲外蒼天



ポイント1 売上高は、日本・中国の影響により減収も、その他地域では伸長

ポイント2 営業利益は特殊要因の影響や販管費の増加などにより減益

ステークホルダーの皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年3月期第2四半期の業績は、回復傾向にあるものの、第1四半期に実施した日本の基幹システム切り替えによる受注制限や海外棚卸資産の評価額見直しなどの特殊要因や円高、中国市場環境変化などの影響により、減収・減益となりました。売上高は前年同期比4.1%減、営業利益は同25.9%減、中間利益*は同26.9%減となりました。

地域別に見ると、米州、EMEA、アジア・パシフィックにおいて、各分野の試薬売上が順調に増加しました。米州では、ヘマトロジー*・尿分野の機器・試薬がいずれも好調に推移し、アミロイドβ*検査試薬も大きく伸ばしました。EMEAでは、中東の地政学的影响による一部減収があったものの、主要国を中心に機器・試薬ともに堅調に推移しています。また、ドイツでは血液凝固検査機器などの大型案件を獲得するなど、今後さらなる成長が期待されます。アジア・パシフィックでは、インドにおけるヘマトロジー分野の試薬が大きく伸長したほか、フィリピンなど東南アジアでもヘマトロジー・尿分野が順調に拡大し、2桁の増収となりました。

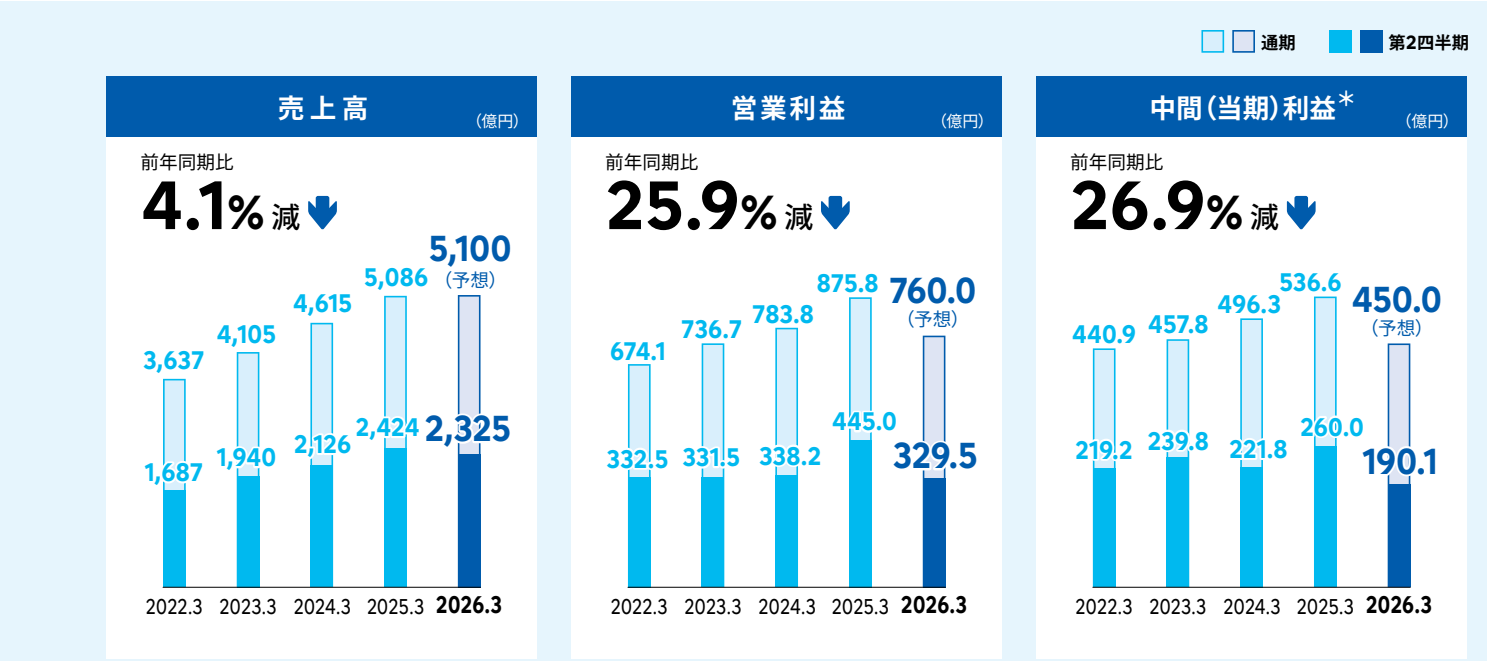
メディカルロボット事業は、国内およびシンガポール・マレーシアにおける症例数が順調に増加し、今後は市場のさらなる拡大が見込まれます。

2026年3月期の連結業績予想につきましては、中国での事業環境変化を受け、売上高5,100億円、営業利益760億円へ下方修正しました。配当につきましては、期初予想どおり、1株につき38円(中間19円、期末19円)を予定しており、記念配当を含めて前年から6円増配となります。

足元の業績・株価は思うような成果を上げられておらず、株主の皆様のご期待に十分応えられていないことを重く受け止めております。現在の課題に真正面から取り組み、既存事業の強化とともに、将来に向けた新たな価値の創出を着実に進め、企業価値の向上に努めてまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

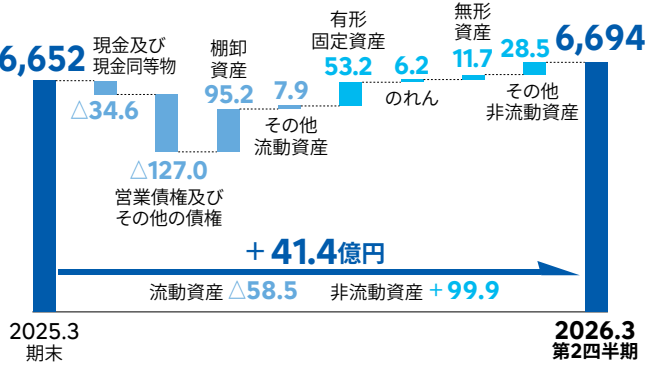
	■2026年3月期通期業績予想 (億円)			■想定為替レート (円)		
	売上高	営業利益	当期利益	1USDドル	1ユーロ	1中国元
2025年11月発表	5,100	760	450	148.5	171.5	20.8
2025年5月発表	5,350	915	570	142.0	160.0	19.5
【参考】 2025年3月期実績	5,086	875	536	152.6	163.8	21.1

青字：期初公表(2025年5月)からの変更箇所

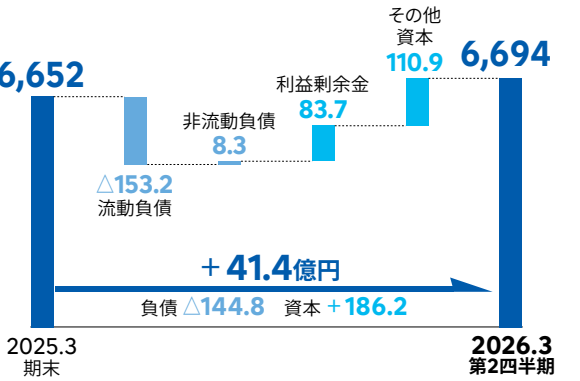


連結財政状態計算書の増減要因 (億円)

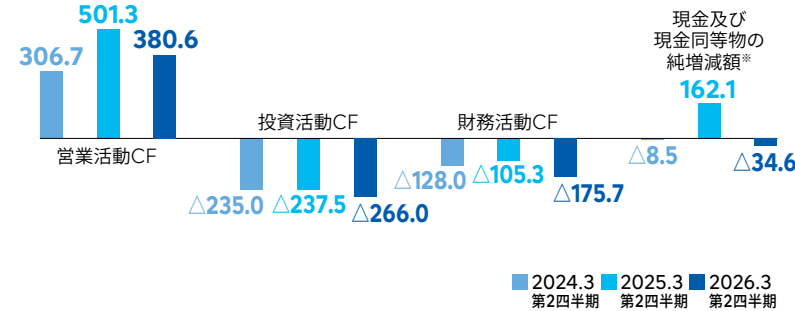
資 産



負債および資本

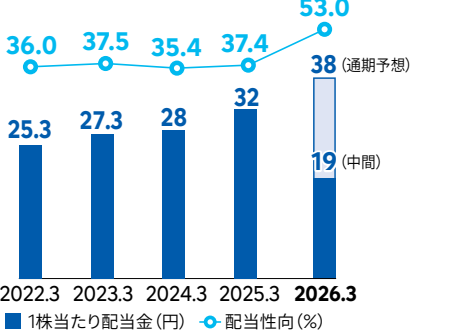


キャッシュ・フローの推移 (億円) ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



1株当たり配当金／配当性向

※2024年4月1日分割後ベースに換算



利益配分(配当)に関する考え方について：当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、株主の皆様への還元強化を目的に、2026年3月期より配当性向を40%目処に引き上げ、累進配当といたします。

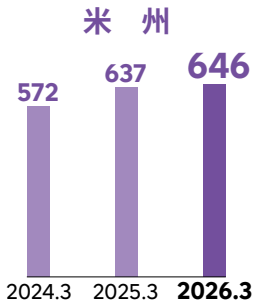
本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*中間(当期)利益：親会社の所有者に帰属する中間(当期)利益。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

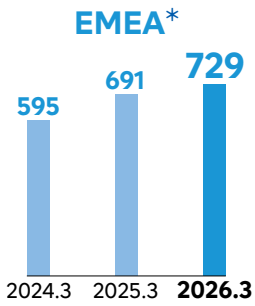
*アミロイドβ：アルツハイマー病患者の脳組織の病理学的特徴の一つである老人斑の主要構成成分であり、40個程度のアミノ酸から構成される。

地域別売上高 (億円)



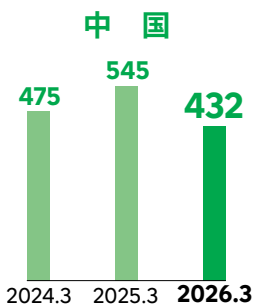
前年同期比 **1.5%増** ↑ **5.9%増**

北米は1Qから好調、中南米も2Qに大きく伸長。機器販売はヘマトロジー*・尿・血液凝固分野が好調に推移しており、下期は新製品投入で、さらなる増収を見込む。



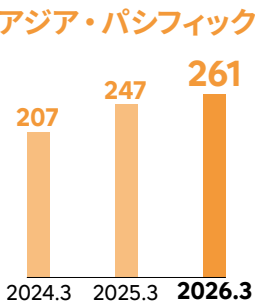
前年同期比 **5.6%増** ↑ **4.2%増**

中東における地政学的影響により、トルコやサウジアラビアなどで減収となるも、フランス、ドイツなど主要国を中心に機器・試薬とも好調に推移し、増収。



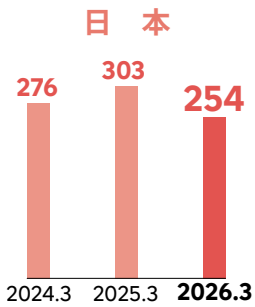
前年同期比 **20.6%減** ↓ **17.9%減**

医療費抑制政策の影響に加え、代理店の経営悪化による在庫調整が進み、減収。その中でも血液凝固・免疫分野の機器販売は前年下期から継続して、好調に推移。



前年同期比 **5.7%増** ↑

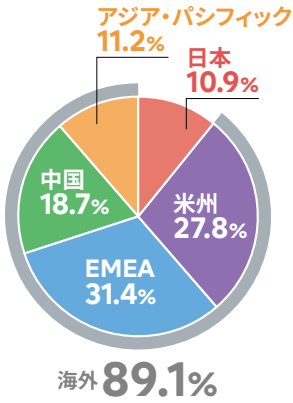
機器は減収となるも、ヘマトロジー・尿分野の試薬が伸長し、増収。特にインドのヘマトロジー分野の試薬が大きく伸長し、2Q単では2桁増収を達成。



前年同期比 **16.1%減** ↓

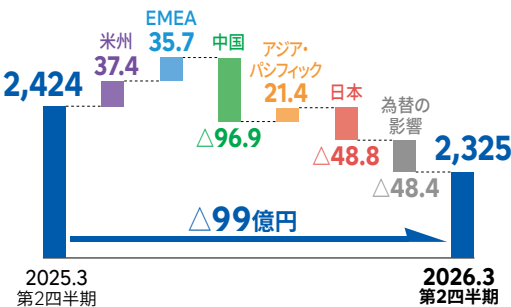
機器は前年度好調の反動などにより減収。試薬は1Qに発生した受注制限の影響は概ね解消し、通常水準へ回復。メディカルロボット事業は病院の投資が弱く、上期導入は6台にとどまる。

地域別売上高構成比



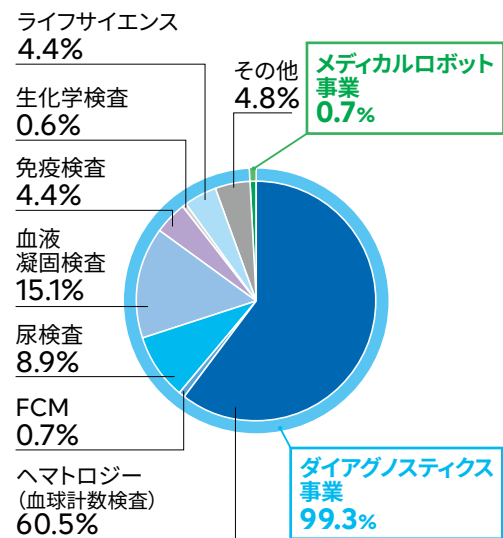
地域別売上高の増減 (億円)

※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート(期中平均) (円)			
	2024.3 第2四半期	2025.3 第2四半期	2026.3 第2四半期
1 USドル	141.0	152.6	146.0
1 ユーロ	153.4	166.0	168.1
1 中国元	19.8	21.2	20.3

事業別売上高構成比



日本電子社の生化学検査事業承継による成長拡大

シスメックスは、2025年9月、日本電子株式会社の医用機器事業を承継する株式譲渡契約を締結しました(2026年4月に株式譲渡完了予定)。

対象事業である生化学検査は、生活習慣病の兆候や肝・腎機能などを調べる、初期診断に不可欠な基礎的検査の一つです。世界人口の約85%を占めるとされている新興国においては、基礎的検査は普及途上であり、事業機会の拡大が期待されています。

日本電子社製の生化学自動分析装置は高品質で、日本市場でもシェアが高い製品です。シスメックス

は、2010年から業務提携によりアジア市場で本製品を販売しており、本契約により、グローバルに新興国市場への事業拡大を加速させていきます。

また、今後は試薬メーカーとの協業や免疫検査分野を含めた事業の展開など、既存事業のシナジーを活かし、グローバルでのさらなる成長拡大を目指していきます。

生化学検査で わかること(例)	●肝炎、脂肪肝、腎不全
	●糖尿病の有無やコントロール状態
	●動脈硬化、メタボリック症候群のリスクなど

米国でヘマトロジー・血液凝固検査分野の新製品販促を開始

シスメックスは、収益の主軸を担っている既存事業の強化を成長戦略の一つとして捉え、グローバルに取り組みを展開しています。2025年6月、世界最大の市場である米国において、グローバルシェアNo.1のヘマトロジー分野、ならびに血液凝固分野の最新上位モデルの薬事承認をついに取得しました。これにより両新製品のグローバル全地域への市場導入が完了し、売上拡大や収益性向上をさらに加速させていきます。

「既存事業の強化」の戦略はこちらで紹介しています。→



国内初、アルツハイマー病治療薬の副作用リスクを検査可能に

アルツハイマー病治療薬(抗アミロイドβ抗体薬)は、認知症の進行を抑える効果が期待されていますが、一部の患者さんに副作用(ARIA*)が現れることがあります。シスメックスは、この副作用リスクを予測する検査試薬の販売承認を国内で初めて取得しま

した。この検査試薬は、臨床現場で医師と患者さんやそのご家族が治療方針を決定する際に役立つことが期待されています。

今後は社会実装に向け、関連学会と連携し、保険適用に向けた活動を進めていきます。

■アルツハイマー病治療薬の副作用リスク検査試薬イメージ



世界中の人々の健康に寄り添う、シスメックスの挑戦

シスメックスは、長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニー*を、ともに。」のもと、これまでの検体検査領域に留まらず、予防や治療など幅広い領域で、医療課題の解決に取り組んでいます。本特集では、ヘルスケアジャーニーの各場面で、私たちの製品・サービスがどのように社会に貢献し、人々の健康を支えているのか、その事例をご紹介します。

▶ 新興国における、血液検査の普及

医療課題 世界約80億人のうち、約45億人は十分な医療サービスを受けられていません(2021年時点)^{※1}。医療インフラや医療従事者、教育機関が十分に整っている国は限られており、多くの地域で基礎的な医療の普及が求められています。

シスメックスの取り組み シスメックスは、治療の前提となる「検査」の普及を通じて、質の高い医療を誰もが受けられる社会の実現を目指しています。**新興国を含む190以上の国や地域**で、製品・サービスに加え、正確な血液検査を行うためのトレーニングや学術情報を提供し、医療アクセス向上に努めています。

具体例

- 基礎的な検査機器・試薬の提供(小型モデルなど)
- 医療従事者への学術情報・製品トレーニングの提供



多項目自動血球計数装置
(インドモデル)

*ヘルスケアジャーニーとは：人が一生の中で経験する「予防・診断・治療・予後」といった一連の医療体験を旅路と捉えるシスメックス独自の概念。シスメックスはこの旅路に寄り添い、誰もがより長く健康を維持できる社会の実現を目指している。

□「ヘルスケアジャーニー」について
こちらでも紹介しています。

統合報告書「シスメックスレポート2025」
(P5～)



ヘルスケアジャーニー (診断・治療、そして回復まで)



予後



効果判断



治療・手術



精密検査



健康診断・基礎検査



予防

▶ 早期回復につながる、手術支援ロボットの普及

医療課題 従来の開腹手術は、患者負担が大きく、術後の回復に時間がかかる傾向があります。手術支援ロボットを導入することで、より切開部を小さくでき、**入院日数が平均3.2日削減**^{※2}されるなど、患者さんの負担軽減と安全性向上が期待されています。

シスメックスの取り組み シスメックスは川崎重工業株式会社と合併で株式会社メディカロイドを設立。総代理店として、手術支援ロボットを世界に展開し、2024年度までに日本・アジアで**累計約1万症例の手術**を支えてきました。引き続き海外展開を進め、また、手術技法の教育コンテンツ化や遠隔手術の実用化を通じ、より多くの患者さんが早期回復できる医療環境の実現を目指します。

具体例

- 検体検査領域で培ったサービス&サポートの手術室への展開
- 遠隔手術の実用化に向けた実験(2025年6月、日本-フランス間での遠隔実証実験に成功)



手術支援ロボット

▶ 血液による、負担の少ない認知症検査の実現

医療課題 認知症は世界的に増加しており、2021年時点で**患者数は約5,500万人、経済損失は約1兆3千億ドル**^{※3}と試算されています。特にアルツハイマー病は発症の20年以上前から脳内で異常が生じるため、早期発見が重要とされています。従来の検査(PETや脳脊髄液検査)は身体的・経済的な負担が大きいため課題です。

シスメックスの取り組み シスメックスは、独自の高感度測定技術を活かし、わずかな血液でアルツハイマー病の原因となる脳内アミロイドβの蓄積状況を測定する試薬を開発。患者さんへ負担の少ない検査の実現や、治療薬の適切な投与・効果測定への活用が期待されています。

具体例

- アルツハイマー病に関連する血液検査の開発・普及



試薬

□ アルツハイマー病関連の取り組みを
P4「NEWS」でも紹介しています。

▶ 検査技師不足を補う、検査室の自動化を推進

医療課題 高齢化や医療の高度化などを背景に、検査の需要拡大と複雑化が進み、対応する検査技師の人材不足が顕著になっています。米国の調査では、血液学・血液凝固学分野で**検査技師の欠員率が16.6%**^{※4}に達し、医療現場の課題となっています。

シスメックスの取り組み 近年高度化する医療現場において、検査プロセスのさらなる自動化や、AIを活用した検査結果解析システムの開発などを進めることで、生産性を高め、深刻化する検査技師不足の解決に貢献していきます。

具体例

- 検査システムの開発・導入
- 検査フローの自動化推進



血液凝固検査分野とヘマトロジー分野の統合検査システム

【出典】※1: 日本WHO協会 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC) ※2: 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンの調査結果より算出、日本における前立腺がん手術における開腹手術との比較 ※3: Global status report on the public health response to dementia. Geneva: World Health Organization; 2021. ※4: American Society for Clinical Pathology 2022 Vacancy Survey of medical laboratories in the United States | American Journal of Clinical Pathology | Oxford Academic



掲載しております2次元コードは、
カメラの画面で映してリンクをタップ、またはクリックしてください。

ブラジルの生産拠点を移転・拡張

成長著しい新興国市場では、医療インフラの整備が急速に進んでおり、今後も検体検査領域の持続的な成長が見込まれています。シスメックスは、この需要拡大を見据えて今年度の4月にインドの新生産拠点を稼働開始。これに続き、ブラジルにおいても試薬生産量の拡大のため新工場の建設を開始しました(2027年度内稼働予定)。安定供給体制のさらなる強化を実現し、中南米市場の事業拡大を加速していきます。



ブラジル新試薬生産工場イメージ

2027年度内
稼働(予定)!

「新興国での事業拡大」の戦略はこちらで紹介しています。▶



「血液検査について知りたくなったら見る動画」のご案内

ステークホルダーの皆様に向け、当社の事業領域である血液検査の基本的な知識が視覚的にわかる動画を制作しました。ぜひご覧ください。



こちらから
ご覧いただけます。



「第13回神戸マラソン」を応援

2025年11月に開催された「第13回神戸マラソン」に特別協賛しました。シスメックスは、第1回より継続して特別協賛しています。

KOBE MARATHON 2025

株主様アンケートのお願い

今後の充実したIR活動に向けて、アンケートへのご協力をお願いいたします。



パソコン、スマートフォンから
ご回答をお願いいたします。

<https://q.sysmex-survey.com/51262613/>



会社概要

(2025年9月30日現在)

■商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日 1968年2月20日
■資本金 148億9,851万円

■格付け AA- (R&I:格付投資情報センター)
■従業員数 11,672名(連結) 3,519名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会 6月
■基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
■証券コード 6869
■単元株式数 100株

株式事務について

※証券会社に口座がある株主様はお引取の証券会社へお問合せください。

■株主名簿管理人(および特別口座 口座管理機関)
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〈連絡先〉TEL 0120-094-777(通話料無料)
(土・日・祝日等を除く午前9時~午後5時)
〈ホームページ〉<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
よくあるご質問は右記2次元コードからご確認ください。



お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

